



学校だより

3月号

令和4年2月28日
横浜市立能見台南小学校



← 学校ホームページ
QRコード

「温かい言葉」

校長 榊原 一紀

正門の満開になった梅の花に春の訪れを感じます。満開の梅の近くを子どもたちが「おはようございます」と挨拶をして通り過ぎます。その挨拶は大きかったり、小さかったり、会釈だけの子や声は大きいがこちらを向いていない子、90度以上頭をさげる子、みんな違っています。それぞれの個性を感じながら、子どもたちからの挨拶を通して、私は心を温かくしています。

2月4日から始まった冬季オリンピックが約2週間の熱戦を繰り広げた末に閉幕しました。朝会で子どもたちに話したように、私が楽しみにしていた競技はカーリングでした。昨年9月の代表選考会で2連敗後に3連勝というドラマチックな逆転劇でオリンピックの代表となりました。そんな選手たちがどんな戦いをするのかがとても楽しみだったのです。そして、やはりオリンピックでもドラマチックな逆転劇を起こしてメダルを獲得しました。そんな中、ミスがあるとテレビに向かって「それじゃあ」と否定していたり、劣勢になると「これじゃ負けるな」とテレビに向かって話していたりする私がありました。でもテレビの向こうの選手たちは「ナイス」や「いいね」と前向きな言葉を言っています。どんなに厳しい展開となっても前を向いて、その状況を受け入れ、改善策を考える。そして、否定的な言葉を使うことはありません。

うまくいかないと、どこかで運や人のせいにしがちです。そのような気持ちは誰でも持っているのかもしれませんが、しかし、それでは前には進めません。私も、様々な場面で前向きで温かい言葉を使っていきたいと感じました。

明日から3月、能見台南小学校に着任して、まもなく一年が経ちます。朝の門では、子どもたちの様々な「おはよう」の挨拶、保護者の皆様からの「いつもお世話になっております。」や、学援隊の方からの「子どもたちからたくさんの力をもらっています」と、一年間たくさんの温かい言葉をかけてもらいました。ありがとうございました。

3月18日、令和3年度横浜市立能見台南小学校卒業証書授与式を行います。123名の6年生が証書を受け取り能見台南小学校の思い出を胸いっぱい抱え、巣立っていきます。今まで保護者や地域の多くの方々を支えていただいたことに改めて感謝いたします。